

第一回日本ケータイ小説大賞“優秀賞”受賞作

貞次シュウ・著 『地球最後の24時間』

物語は、地球の最後を宣告されたある朝から始まる。そこで真樹夫がとった行動とは！生きる意味を考えさせられる、深いメッセージがあなたに届く。まるで映画のようなストーリー展開と情景描写。審査員である毎日新聞 学芸部 部長/大川勇氏も「骨太な作品で好感が持てた。」と評価した。現在、ケータイ小説サイト“魔法のiらんど”で読者が57万人突破！残り24時間、あなたは誰に会いに行きますか？

あらすじ

ある朝、主人公の真樹夫がテレビで目の当たりにした総理大臣による24時間後に地球が滅亡するという発表。真樹夫は人生の最期を締めくくべく、5年前に別れた、人生でもっとも愛した、そしてもっとも傷付けてしまった、かつての妻亜紀に会うため京都から一路福岡へと向かう。途中、落下してくる隕石や暴徒と化した人間のために行く手を何度も阻まれ、命を落としそうになる。そして、その結末は.....

読者からの感想

地球最後の日、私もやっぱり一番愛する人に会いたいと思います(20歳女性)

苦しさも哀しみも切なさも一つの愛の形だと教えてくれました(22歳女性)

その場にいるような錯覚に陥りました(32歳男性)

いつかなくなる命だから「今をいかに生きるか」が大切なんだなあと思いました。(18歳女性)

作家プロフィール

貞次シュウ(サダツグシュウ)

好きな作家:宮本輝、酒見賢一、宮城谷昌光、鈴木光司

趣味:車、バイクの運転(過去にはサーキットでレースをしていた事も)、
魚釣り、競馬、旅行など。

好きな一文:雨二モ負ケズ風二モ負ケズ

現在、滋賀県在住。琵琶湖が心の拠り所です。



『地球最後の24時間』

著者:貞次シュウ

発売日:7月20日

定価:1,050円(税込)

第2回日本
ケータイ小説大賞

あなたの作品が書籍になる!
賞金総額300万円!!

概要こちら

ケータイ小説文庫

野いちご

<http://no-ichigo.jp>



主催:日本ケータイ小説大賞実行委員会(毎日新聞社・スタートズ出版)
 共催:エクシング/特別協力:NTTドコモ/協賛:TSUTAYA、セブン-イレブン・ジャパン
 協力:ドーガ堂/後援:スポーツニッポン新聞社